

中野市行政改革推進委員会 会議録

日 時	平成29年 7月19日（水） 13：58～15：28
会 場	市役所本庁舎 31・32号会議室
出席者	<p>【委員】 風間務、田中潔、小山むつ子、宮澤厚子、後藤治志、大塚一夫、東英司、保科千恵子、小林日出夫、北原新一、市村義明、塩川伸一、小高恵利子</p> <p>【市】 副市長、総務部長、子ども部長、経済部長、建設水道部長、消防部長、豊田支所長、会計管理者、教育次長、高齢者支援課長（健康福祉部長代理）、文化スポーツ振興課長（くらしと文化部長代理）</p> <p>【事務局】 政策情報課長、行政管理係長、市川副主幹</p>
欠席者	<p>【委員】 東英司</p> <p>【市】 議会事務局長</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 会長 副市長</p> <p>3 会議事項 (1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成28年度実績について (2) 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
資料	<p>資料1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿</p> <p>資料2 第3次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シート（平成28年度実績報告）</p> <p>資料3 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等</p>

1 開会 (総務部長)

2 あいさつ

会長

副市長

3 会議事項 (議長：会長)

(1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成28年度実績について

(2) 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等について

【会長】

それでは、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料2を説明)

【会長】

ただいまの事務局の説明について、ご質問、ご意見等ございますか。

【委員】

15ページ、プラン番号13「事務事業点検等の推進」についてですが、成果指標の数値が今までの実績から上がってきているが、平成29年度で急に100%にしたのはどうしてか。目標設定はどうしているのか。

【事務局】

成果指標の数値についてですが、この目標値は改善するのが目標の立て方となります。急に上がっているところのご指摘ですが、目標とすれば最善を目指すということで100%という形にしているところですが、今までの流れに合わせて修正すべきであれば検討したいと思えます。

【委員】

再度検討していただき、シビアに見ていただいた方がいいと思います。

【委員】

各会計の収納率に関連した問題ですが、徐々に成果が出てきている所も見受けられますが、未だに滞納があるという中で、最近の不能欠損処理額の推移を教えてください。

市の公共施設総合管理計画が策定され、20%が削減目標という中で、全体の改修費とか、どのくらい軽減されているのかお伺いします。

【事務局】

不能欠損額については、手元に資料がございませんので、最近の状況を整理いたしまして、改めて委員の皆さんへ資料の提出をしたいと思います。

公共施設全体の圧縮額ですが、今年の4月に公共施設最適化計画を策定しましたが、その中で圧縮額の積み上げはしておりません。平成29年度末までに最適化の実施計画を立てるということで、現在各担当課で制作をしているところでございます。詳細につきましては、もう少し時間をいただかないと出ない状況です。

【委員】

プラン番号40 豊田支所の利活用について、「関係する他団体若しくは民間企業と協議」とあるが、どんな団体を想定していますか。

【豊田支所長】

「関係する他団体」は、北信広域連合、北信保健衛生施設組合のこと。民間企業については、まだ具体的に申し上げられる状況ではございません。

【委員】

地域の拠点であるということですので、広く当たっていただいて最善の措置になるようお願いしたい。

【委員】

屋内ゲートボール場の代替施設について、具体的にどのように進んでいるのか。小学校の体育館も統合により空いてくるし、グランセローズの練習場となっている屋内運動場という施設もある。どのように考えているのかお伺いします。

デイサービスの利用状況について、3施設とも前年度に比べて1日平均の利用者数は増加していると思うが、減少傾向にあるとなっているのはどうしてか。どのように認識をされているのかお伺いします。

【高齢者支援課長】

屋内ゲートボール場の代替施設の検討についてですが、豊田温泉公園もみじ荘のところにある屋内ゲートボール場、ただ今話がありました屋内運動場を代替施設として検討しております。小学校の体育館が空いてくるという話がありましたが、小学校の統合準備委員会の意見を聞きながら検討していきたいと思っています。

デイサービスの集約化についてですが、一般の利用者は増加しているところですが、認知症対応型の利用者については減少傾向であり、全体的に減少傾向であります。31ページの平成28年度の反省・課題・改善点等にも記載がありますが、今年度第7期介護保険計画策定年度となっておりますので、その中で集約化について検討していくことになっております。

【委員】

ゲートボール人口が若干減少傾向にあるという中でも、特に冬期間に高齢者が運動する場所として、健康維持に大切な施設だと考えています。各団体からも要望があると思うが、最善の方向に行くようお願いしたいと思います。

【会長】

無いようですので、次に移ります。

会議事項(2)「行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料3を説明)

【会長】

ただいまの事務局の説明について、ご質問、ご意見等ございますか。

【委員】

プラン番号17 給食センターの集約化についてですが、このことについては行政改革推進委員会に携わらせていただいてから絶えず申し上げているものになります。豊田の施設が古いとなっているが、平成12年に建設した施設です。どこが老朽化をしているのでしょうか。

【教育次長】

老朽化という言葉を使っていますが、3施設のうち豊田の施設が一番古いという意味です。

【委員】

前回まで委員でいた岡村郁子さんが入っているふるさとファームというグループで、子どもたちに無農薬、減農薬の食材を提供したいと活動してくださっています。北部と南部給食センターはオートメーション化しているということで、規格外の曲がったキュウリや大きな大根は扱えないということです。豊田給食センターでは手を加えて給食にしてくださっている。そういう状態が、私はとても素晴らしいことだと思います。まっすぐなものしか食品として相手にされないような考え方ではなく、あらゆるものが手を加えて工夫をすれば何とかなるんだ、ということ。素晴らしい発想でやられている。それを無くさないでほしいと思います。子どもたちにとって、とても大切なことだと感じています。

平成28年度には、コンテナの保管能力が無くて不可能だと書かれていたのですが、資料3の市の考え方を見ると「全然大丈夫だよ」となっているように思うのですが、私の読み方が違うのか説明をいただきたいと思います。

【教育次長】

コンテナの保管場所についてですが、施設整備の時期によって、中野地域の給食センターにすべての豊田の分を今のまま含めるのは厳しいということを出してあります。解決策とすれば、色んなやり方が考えられるので、豊田の分も対応できるのではないかと考えています。

【委員】

意見として出させてもらいましたが、人口の減ということが合言葉のように言われているんですが、仕方のない部分はあるとは思いますが、何とか増やしていきたい。能力ぎりぎりに減らしてしまうというのは、違和感を覚えます。学校の統合と同じように、空き教室が全然ない学校と同じで、余裕のないセンターでは困るのではないかと感じています。もし増えた場合はどうされるのでしょうか。

【教育次長】

先に、食材についてですが、工夫をしながら豊田地域の食材も扱えるように考えていきたいと思います。もし今後児童数等が増えた場合に対応できないのではないかとのご心配についてですが、北部と南部給食センターの2施設で4500食をつくることのできるため、豊田の分について対応できると思います。本当に増えるようなうれしいことがあれば、その時に考えていきます。

【委員】

今ある施設を有効に使っていただけるようお願いしたいと思います。

オートメーション化されている中ですが、曲がったキュウリや大きな大根を使えるように工夫するというお話でしたが、実際に可能なのですか。

【教育次長】

実際にできるかの検証はしていません。その点も含めて出来るだけ地域の農産物を使えるような工夫をしていきたいと思っています。

【委員】

この審議においてもまだ選挙制度の小選挙区制と中選挙区制の違いのようなもので、一発勝負であれば小さいものがどんどん減っていくというような感じがしています。必ずすべてそれに当てはまるわけではないのですが、観点として、そうならないようにしてほしいと思います。要望です。

【委員】

プラン20「帯の瀬農産物加工施設の廃止」について、今年始まったばかりでゆくゆくはどうなるかわからないのですが、民間企業を活用してやっていくということで、非常に大

切なことだと考えます。

豊田支所の利活用でも民間企業との協議をしていくとありました。1つの参考となるいいことだと思う。

【会長】

その他、全体を通してご意見等ありますか。

【委員】

北部地域、豊田地域の小中統合準備委員会が進められていますが、豊田地域について、本当に中学校に小学校を入れるのかという声が聞かれます。総合教育会議に出席されている副市長さんは、どう感じていますか。

【副市長】

総合教育会議については、私はオブザーバーでの参加となっています。

「統合準備委員会だより」もこれから出るところですが、会議の中で決まったこと、話していることについて市民の皆様へ出していきます。ホームページではすでに出ていますし、8月の広報の紙面でもお知らせすることになっています。

【委員】

昨年9月に決定され、そこから準備をしています。施設について、いくら人数が少なくなくても、中学校の校舎に小学校の教室数をそのまま入れるのか、ということ。とても手狭だと思います。現場の先生の中でも疑問を持たれている方がいます。ブレーキをするわけではないが、検討いただきたいと思っています。

【副市長】

決めた年度までに開校をするために準備を進めるのが、統合準備委員会だと思っています。今のお話のように色んなお考えがあって、そのことについて議論をしていただくことはいいと思います。しかし、開校の年度が決まっていますので、そこに間に合うように準備するのが第一なので、それに遅れることの無いようにしていきたいと思っています。

【委員】

決定の前の説明会の時に、いつまでもただただでは困るので、統合準備委員会をつくります。そこで意見を出し合って話してください、ということだった。そういう場である統合準備委員会なので、期限が決まっているから、という話をされても、こちらとしたり不親切というか、ちょっとおかしいんじゃないかと感じてしまいます。そこをよく話していただきたいと思います。

【副市長】

全校児童の人数が50人を切る中で待ったなしの状況は変わらないため、開校の年度に間に合うように進めていきます。

【会長】

「行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等」ということで、他にもありますか。

【委員】

遊休荒廃農地に、税金がかかるという話を聞いたのですが、本当ですか。

【経済部長】

どこの土地にも税金はかかっています。遊休荒廃農地は、税金が減免されています。その減免は、農地として活用するために行っています。市でもパトロールをして、荒れている農地を見えています。国の制度の話をして、農地として使ってもらえるように話します。ほったらかしにされていて、自分でも出来ない、他の制度を使って農地にすることも断った場合は、減免になりませんよ、ということです。対象がありましたら、農業委員に相談していただきたいと思います。

【委員】

17ページの財政主要3指標の向上にある数値の見方を教えてください。

【事務局】

目標値、実績値と達成率が出ています。1つ1つの指標の内容については、公表しておりますので、ホームページ等でご覧いただければと思います。

4 その他

- ・第3次中野市行政改革集中改革プランについては市公式ホームページで公表する。
- ・次回の委員会では、集中改革プラン平成29年度中間点検をお願いします。
- ・現委員の任期が平成29年10月29日までとなっているため、新たな委員選考についてはご協力をお願いします。

5 閉会（会長）

終了 15時28分